

平成26年度 e・アンケートモニター  
第2回アンケート NO.2 調査結果

テーマ「食の安心・安全の推進に向けた取組」

I 調査の概要

1 調査の目的

食中毒や輸入食品による健康被害の発生、食品表示偽装事件、農産物の残留農薬の問題など、食品の安全性や信頼性が脅かされる事件が発生しています。

県では、こうした事態に対処し、食の安心・安全に向けた取組の一層の推進を図るため、平成20年度に「山口県食の安心・安全推進条例」を制定しました。

また、この条例に基づく施策を総合的かつ計画的に推進するための「山口県食の安心・安全推進基本計画」を平成24年度に改定したところであり、今後、改定計画に定める具体的な取組を推進するに当たっての参考とさせていただくため、調査を実施します。

2 調査実施期間

平成26年9月11日(木)～9月25日(木)

3 調査対象

平成26年度 e・アンケートモニター 117 人

4 回答状況

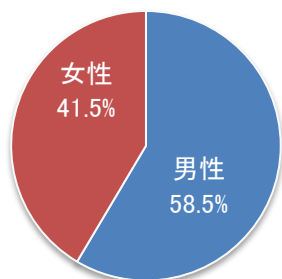
回答者 82 人(回答率 70.1%)

5 調査担当課

山口県環境生活部生活衛生課

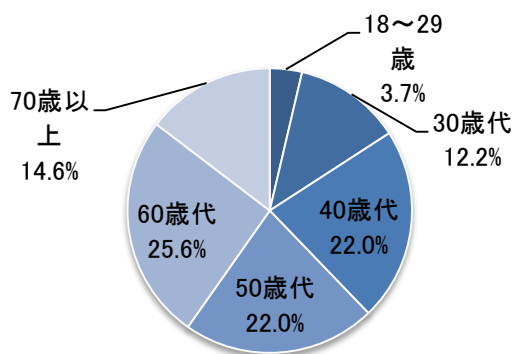
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	48	58.5
女性	34	41.5
計	82	100.0

■年代別



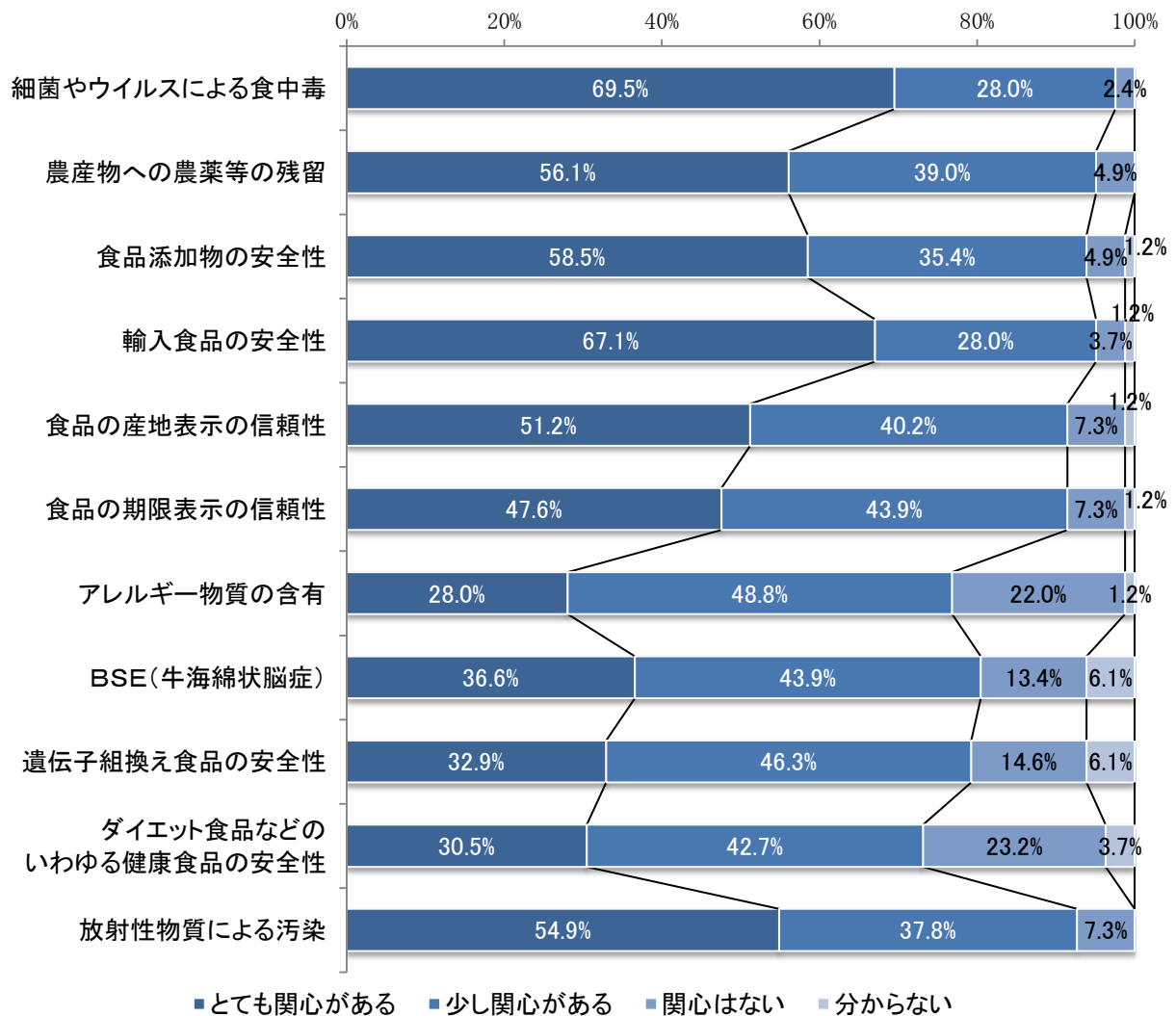
区分	人数	%
18~29歳	3	3.7
30歳代	10	12.2
40歳代	18	22.0
50歳代	18	22.0
60歳代	21	25.6
70歳以上	12	14.6
計	82	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とならない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

#### 【食品への関心】

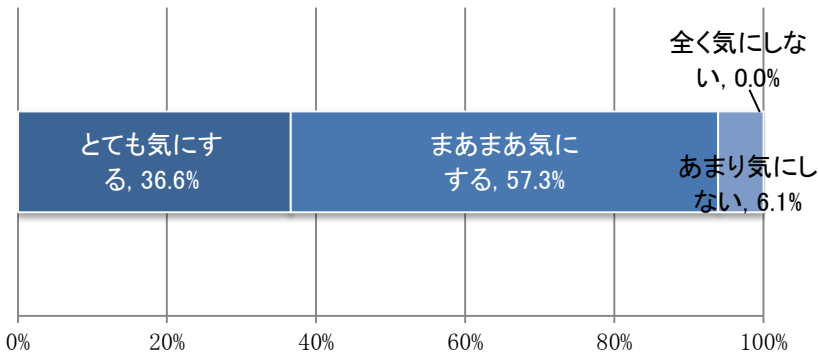
Q 1 あなたは、食品に関して、どのようなことに関心をお持ちですか。(それぞれ1つずつ)



選択肢	人数				%			
	とても関心がある	少し関心がある	関心はない	分からない	とても関心がある	少し関心がある	関心はない	分からない
細菌やウイルスによる食中毒	57	23	2	0	69.5	28.0	2.4	0.0
農産物への農薬等の残留	46	32	4	0	56.1	39.0	4.9	0.0
食品添加物の安全性	48	29	4	1	58.5	35.4	4.9	1.2
輸入食品の安全性	55	23	3	1	67.1	28.0	3.7	1.2
食品の産地表示の信頼性	42	33	6	1	51.2	40.2	7.3	1.2
食品の期限表示の信頼性	39	36	6	1	47.6	43.9	7.3	1.2
アレルギー物質の含有	23	40	18	1	28.0	48.8	22.0	1.2
BSE(牛海綿状脳症)	30	36	11	5	36.6	43.9	13.4	6.1
遺伝子組換え食品の安全性	27	38	12	5	32.9	46.3	14.6	6.1
ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	25	35	19	3	30.5	42.7	23.2	3.7
放射性物質による汚染	45	31	6	0	54.9	37.8	7.3	0.0

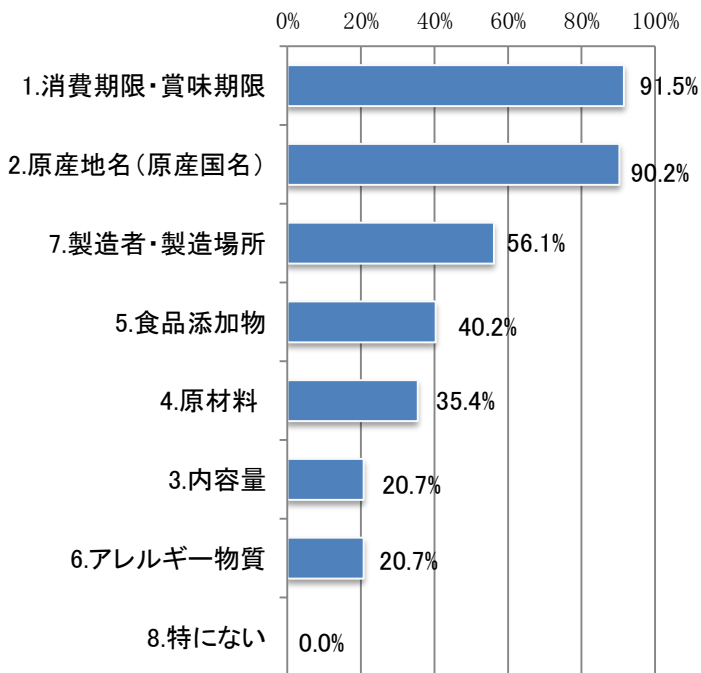
## 【食品表示】

Q2 あなたは、食品を購入する際、食品に記載されている表示をどの程度意識していますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
とても気にする	30	36.6
まあまあ気にする	47	57.3
あまり気にしない	5	6.1
全く気にしない	0	0.0

Q3 あなたが食品を購入する際に意識する食品表示の項目は何ですか。(いくつでも)

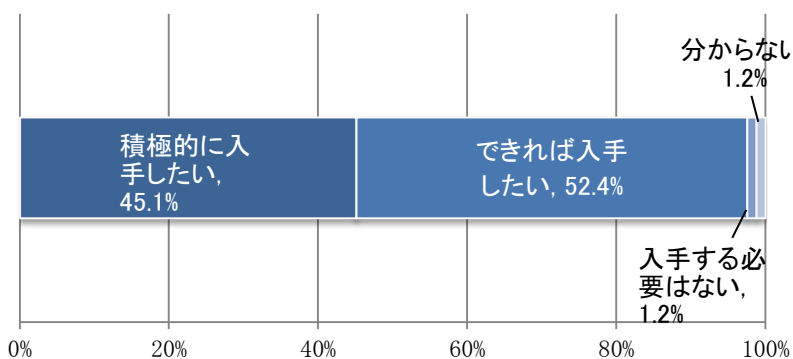


選択肢	人数	%
1.消費期限・賞味期限	75	91.5
2.原産地名(原産国名)	74	90.2
3.内容量	17	20.7
4.原材料	29	35.4
5.食品添加物	33	40.2
6.アレルギー物質	17	20.7
7.製造者・製造場所	46	56.1
8.特にない	0	0.0

(複数回答)

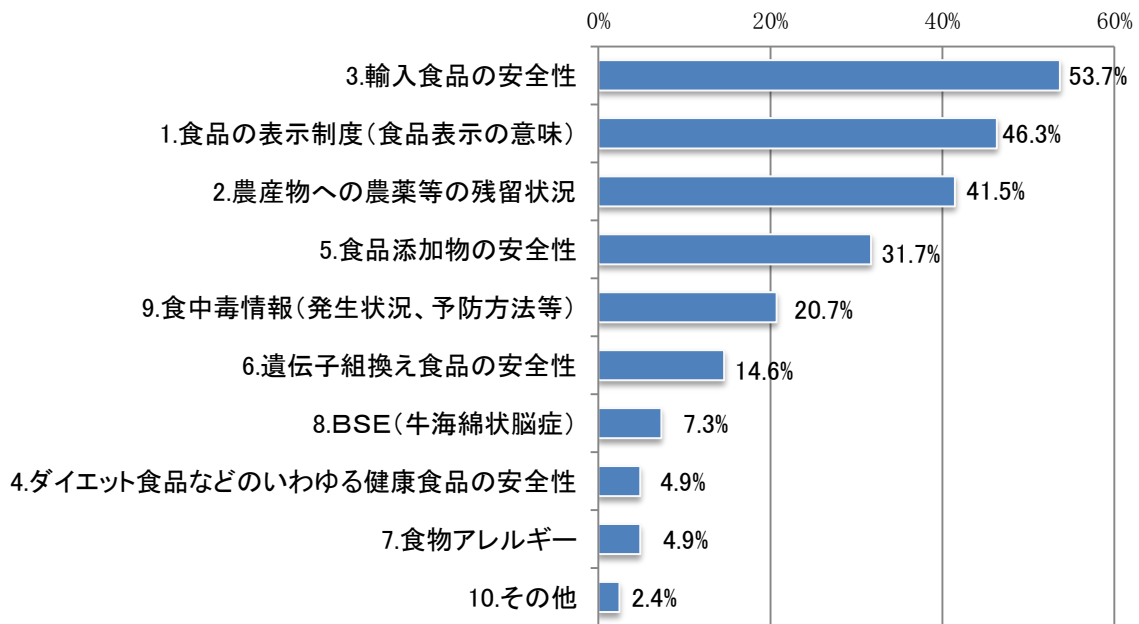
## 【食の安心・安全に関する情報と入手方法】

Q4 食の安心・安全に関する情報を入手したいと思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
積極的に入手したい	37	45.1
できれば入手したい	43	52.4
入手する必要はない	1	1.2
分からない	1	1.2

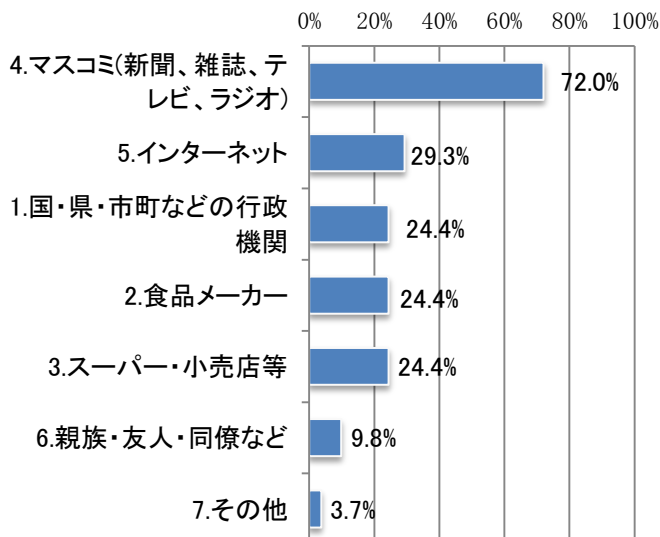
**Q 5** あなたは、食の安心・安全に関するどのような情報を入手したいと思いますか。(2つまで)



選択肢	人数	%
1.食品の表示制度(食品表示の意味)	38	46.3
2.農産物への農薬等の残留状況	34	41.5
3.輸入食品の安全性	44	53.7
4.ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	4	4.9
5.食品添加物の安全性	26	31.7
6.遺伝子組換え食品の安全性	12	14.6
7.食物アレルギー	4	4.9
8.BSE(牛海綿状脳症)	6	7.3
9.食中毒情報(発生状況、予防方法等)	17	20.7
10.その他	2	2.4

(複数回答)

**Q 6** あなたは、食の安心・安全に関する情報をどこから入手することが多いですか。(2つまで)

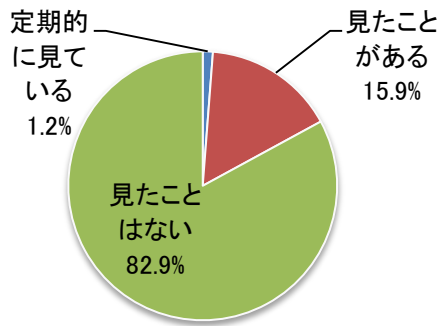


選択肢	人数	%
1.国・県・市町などの行政機関	20	24.4
2.食品メーカー	20	24.4
3.スーパー・小売店等	20	24.4
4.マスコミ(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ)	59	72.0
5.インターネット	24	29.3
6.親族・友人・同僚など	8	9.8
7.その他	3	3.7

(複数回答)

**Q7** あなたは、食の安心・安全に関する県の取組等を紹介している「山口県食の安心総合情報ホームページ※」をご覧になったことがありますか。(1つのみ)

※ URL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15300/syoku/index.html>



選択肢	人数	%
定期的に見ている	1	1.2
見たことがある	13	15.9
見たことはない	68	82.9

[Q7で、「定期的に見ている」「見たことがある」と回答された方に]  
掲載している内容について、お伺いします。

**Q8** 「分かりやすさ」はどうですか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
分かりやすい	2	14.3
おおむね分かりやすい	12	85.7
分かりにくい	0	0.0

調査対象者数 14

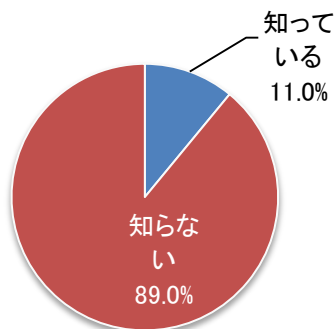
**Q9** 「情報量」はどうですか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
十分である	0	0.0
おおむね十分である	12	92.3
不十分である	1	7.7

調査対象者数 14 無回答 1

[全ての方に]

**Q10** 平成25年6月から、食の安心・安全に関する様々な情報をお届けする「やまぐち食の安心・安全メール」の配信をしていますが、あなたは、この「やまぐち食の安心・安全メール」をご存じですか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
知っている	9	11.0
知らない	73	89.0

《やまぐち食の安心・安全メール》

県民の皆様が食の安心・安全について、正しい知識を習得し、適切に判断することができるよう、食の安心・安全に関する様々な情報を積極的に発信しています。

[配信の種類]

定期配信: 食の安心・安全に関するさまざまな情報を定期的に配信(月2回程度)

食品の検査結果、食の安心・安全に関する施策、豆知識等

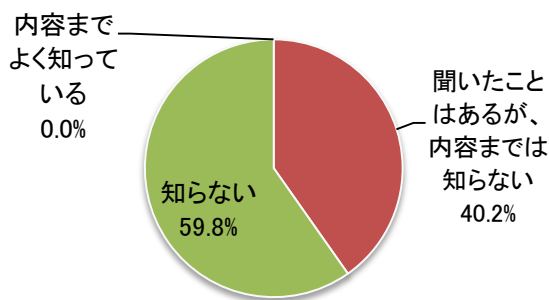
随時配信: すみやかに周知が必要と認められる情報を随時配信

広域流通食品による健康被害事案、食品の自主回収事案等

※詳細については「山口県食の安心総合情報ホームページ」をご覧ください。

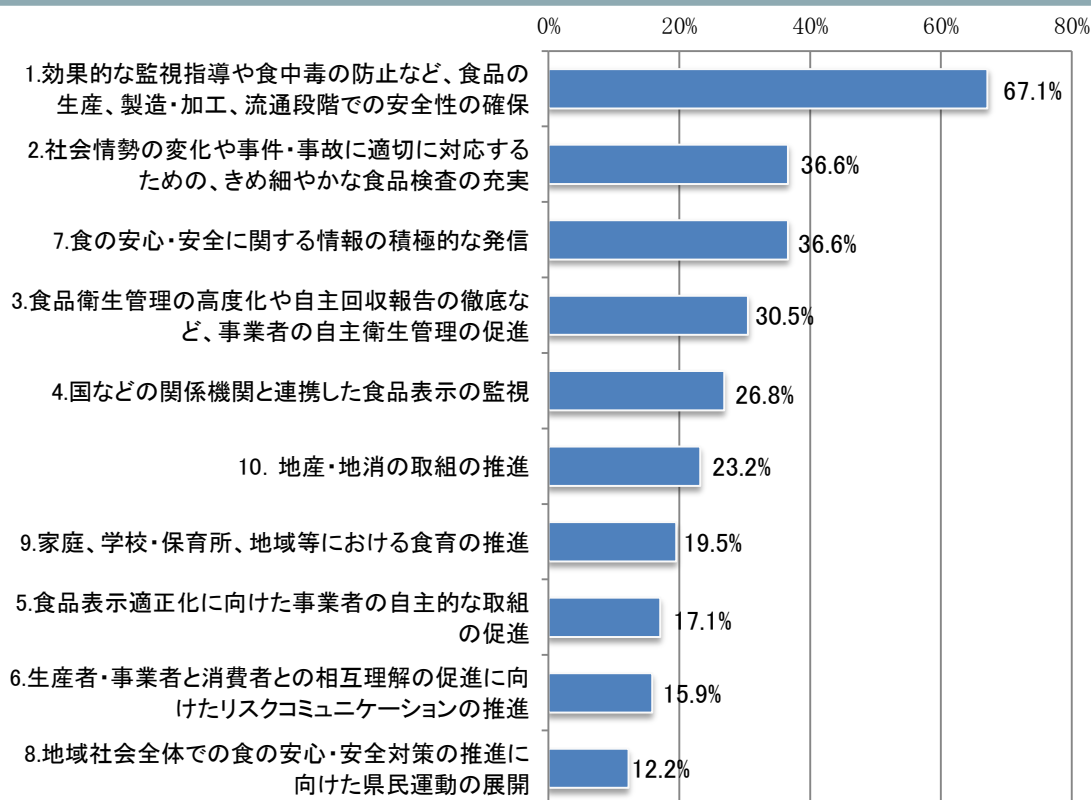
【山口県食の安心・安全推進条例等】

Q 1 1 あなたは、平成21年4月、「山口県食の安心・安全推進条例」が施行されたことをご存じですか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
内容までよく知っている	0	0.0
聞いたことはあるが、内容までは知らない	33	40.2
知らない	49	59.8

Q 1 2 県では、「山口県食の安心・安全推進基本計画（改定版）」に基づき、以下の取組を進めています。あなたが期待する取組は、次のうちどれですか。(3つまで)



選択肢	人数	%
1.効果的な監視指導や食中毒の防止など、食品の生産、製造・加工、流通段階での安全性の確保	55	67.1
2.社会情勢の変化や事件・事故に適切に対応するための、きめ細やかな食品検査の充実	30	36.6
3.食品衛生管理の高度化や自主回収報告の徹底など、事業者の自主衛生管理の促進	25	30.5
4.国などの関係機関と連携した食品表示の監視	22	26.8
5.食品表示適正化に向けた事業者の自主的な取組の促進	14	17.1
6.生産者・事業者と消費者との相互理解の促進に向けたリスクコミュニケーションの推進	13	15.9
7.食の安心・安全に関する情報の積極的な発信	30	36.6
8.地域社会全体での食の安心・安全対策の推進に向けた県民運動の展開	10	12.2
9.家庭、学校・保育所、地域等における食育の推進	16	19.5
10. 地産・地消の取組の推進	19	23.2

(複数回答)